

私の活動について

¡Hola a todos! ¿Cómo están?

みなさん、こんにちは！

私はJICA海外協力隊としてパラグアイに派遣され、野菜栽培隊員として活動している会田安那です。

今回は、私がパラグアイで行っている活動について紹介します。

私の活動は、大きく分けて2つあります。

①学校での活動

②農家・地域での活動

私が所属する市役所では、小・中規模農家や子どもたちを支援することを通じて、地域農業の発展を目指しています。そのため私の活動では、主に次の3つのことを目標にしています。

- 1, 日本の知識や技術を共有し、野菜の品質向上や生産性向上に貢献すること
- 2, 将来の農業を担う子どもたちが、野菜や栽培について学ぶ機会を提供すること
- 3, 地域における持続可能な農業の発展に貢献すること

これらの目標を達成するため、学校、地域住民、農家を対象に、野菜栽培や食育に関する活動を行っています。パラグアイでは肉を中心とした食文化が根付いており、野菜の消費量は日本と比較すると少ない傾向があります。そのため、野菜栽培は収入向上だけでなく、野菜を食べる機会を増やし、健康的な食生活につなげるためにも重要な取り組みであると考えています。



【写真1：ぼかし肥料についての講演実施】

① 学校での活動

1年目は主に4年生（午前・午後）約40名を対象に、週1回学校を訪問して授業を行いました。

レタス、トマト、ピーツ、スイスチャード（アセルガ）などの野菜を栽培し、種まきから発芽、定植、管理まで、子どもたちと一緒に取り組みました。

それぞれのグループが責任を持って自分たちの野菜を管理し、成長の変化を観察することで、植物を育てるためには継続的な関わりが大切であることを学ぶ機会になりました。

また、最終授業では栽培した野菜を使って野菜ジュース作りを行い、栽培と健康・栄養とのつながりについて楽しく学びました。



【写真2：午前の部の子供達と畑作業】



【写真3：水やりをしている様子】

一方で、活動を進める中では、資材調達や畑の準備が予定通り進まないなど、計画通りに活動する難しさも経験しました。

また、グループごとに栽培していた野菜で、他のグループの野菜の方がよく育っていると、自分たちの野菜と比較し抜いてしまう場面もありました。

この経験から、栽培技術だけでなく、責任を持って育てることや、仲間と協力することの大切さも伝える必要があると感じました。

その一方で、子どもたちは毎週の授業を楽しみにしてくれていました。教室に入ると「¡Anna!」と元気に駆け寄ってくれる姿は、慣れないスペイン語で授業を行う私にとって大きな励みとなりました。

さらに授業では、野菜栽培だけでなく、日本について知ってもらうための活動も行いました。折り紙や箸の使い方、日本の学校生活や食文化などを紹介すると、アニメやSNSをきっかけに日本に興味を持っている子どもも多く、積極的に学ぶ姿が見られました。

現在は学年が変わり、3年生の授業を担当しています。これまでの経験や反省を活かしながら、子どもたちが楽しく主体的に学べる授業づくりに取り組んでいます。



【写真4：箸の使い方に苦戦する子供達】



【写真5：野菜を使った調理実習に取り組む子供たち】

② 農家・地域での活動

地域や農家での活動では、家庭菜園や農家訪問を中心に、野菜栽培の技術支援や食生活の改善に向けた取り組みを行っています。また、農業省による研修やワークショップ等と一緒に参加し、地域農家が抱える課題について理解を深めています。

そして現在は主に、地域の女性グループである「婦人会」と、農業に取り組む「農家委員会」の2つのグループで活動しています。それぞれ約20名のメンバーが所属しており、その中でも婦人会では8名、農家委員会では7名の方々と一緒に菜園活動を行っています。

活動では、野菜栽培のポイントや管理方法を共有するほか、コンポストを利用した有機肥料づくりにも取り組んでいます。また、一緒に研修会や定期市（フェリア）にも参加しています。



【写真6：研修に参加する農家の方々】



【写真7：地域での定期市の様子】

(1) 婦人会

活動開始当初は何も植えられていない状態でしたが、現在では13種類以上の野菜を栽培できるまでになりました。また、定期市では収穫した野菜を販売し、わずかではありますが収入向上にもつながっています。より多くの方に購入してもらうため、商品の見せ方やステッカー作成など、販売方法についても試行錯誤しています。



【写真8：畑を始めた当初】



【写真9：畑で収穫した野菜】

(2) 農家委員会

農家委員会では、野菜栽培だけでなく、収穫した野菜を使った健康的な料理づくりにも取り組んでいます。野菜を日常的な食事に取り入れるきっかけをつくり、家庭全体の栄養状態の向上につながることを目指しています。



【写真10：ジャガイモについて説明している様子】



【写真11：健康的な食生活に関する料理講習会】

パラグアイでの活動を通して、野菜栽培は単なる農業技術ではなく、教育・健康・文化・地域社会と深く関わっているものだと感じています。

特に学校や地域での活動を通じて、知識や技術を伝えるだけではなく、人々の価値観や生活習慣に寄り添いながら活動することの大切さを学びました。

思うように進まない場面や課題もありましたが、その都度、子どもたちや地域の方々との関わりの中で改善しながら進めてきた経験は、私自身にとって大きな学びとなっています。

今後もこの経験を活かし、持続可能な農業と健康的な食生活の実現に貢献できるよう努めていきたいと思っています。



【写真12：地域の女性グループ「婦人会」での集まり】

今回は、「パラグアイの食文化」をテーマに、日々の食事やパラグアイの伝統料理について紹介したいと思います。

¡Chao chao! 🖐️